

MACF礼拝説教要旨
2020.12.27
「神の前に静まれ」

詩篇37:7-8

7 沈黙して主に向かい、主を待ち焦がれよ。繁栄の道を行く者や／悪だくみをする者のことでいら立つな。

8 怒りを解き、憤りを捨てよ。自分も悪事を謀ろうと、いら立ってはならない。

新改訳

主の前に静まり、耐え忍んで主を待て。その道が栄えている者や悪意を遂げようとする者に腹を立てるな。

怒ることをやめ 憤りを捨てよ。腹を立てるな。それはただ悪への道だ。"

詩篇 37篇7～8節

+++++

私たちは静まることの大切さをわかっているつもりですが、頭の中は常に活動しておりなかなか静まるできません。

詩編はその原因として「いらだち」「怒り」「憤り」などを挙げており、それらのものによって私たちの心が騒々しくなってしまうことを指摘しています。

そういう意味では「黙想」などの時間はとても重要だと思います。

静かに呼吸に意識を向け「神のいのち」を吸い込み、「自分の汚れた思い」を吐き出し、神にお委ねするという意識での呼吸はとても有益です。同時に「赦されて生きている」という思いを育てることも大事です。

今年はコロナ禍の中で翻弄され、不安と恐れと焦りなどが心を満たしそうになることがありました。そしてそれらが、どこに向けたら良いのかわからないような怒りやいらだちを生み出しました。

解放のために、この詩編を心に留めつつ、以下の聖句にも心向けましょう。

パウロはこう書きました。

フィリピの信徒への手紙4章

6 どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求

めているものを神に打ち明けなさい。

7 そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。

8 終わりに、兄弟たち、すべて真実なこと、すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて名誉なことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。

9 わたしから学んだこと、受けたこと、わたしについて聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神はあなたがたと共におられます。

ペトロはこう書いています。

ペトロの手紙第二1章

4 この栄光と力ある業とによって、わたしたちは尊くすばらしい約束を与えられています。それは、あなたがたがこれらによって、情欲に染まったこの世の退廃を免れ、神の本性にあずからせていただくようになるためです。

5 だから、あなたがたは、力を尽くして信仰には徳を、徳には知識を、

6 知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には信心を、

7 信心には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。

8 これらのものが備わり、ますます豊かになるならば、あなたがたは怠惰で実を結ばない者とはならず、わたしたちの主イエス・キリストを知るようになるでしょう。

これらのみことばを心に蓄え、それに教えられながら生きられたら良いですね。

まだまだやるべきこと、学ぶべきことがたくさんあると意識しながら、思いをそちらに向け「苛立ち」「怒り」「憤り」に支配されないようにできると良いですね。

完成まではまだまだ長い道のりですが、前に進めることは幸いなことです。

人間ですから「怒りも憤りも苛立ちもあるし、暗澹たる思いも通過していきますが、それらに縛られないで後ろに捨てながら歩めたらいいですね。神様への希望を持ち続けたいと思います。

私はほぼ毎年、最後の礼拝の時、このボンヘッフ

アーが獄中で書いた詩を読んでいます。
そこには絶望的な状況に置かれていながら心静かに、祈っている姿が浮かび上がってきています。希望をもって憤りや怒りに勝っている姿が見えてくるように感じるのです。

主のよき力に守られて
(ディトリヒ・ボンヘッフアー／村椿嘉信訳)

主のよき力に 確かに 静かに 取り囲まれ
不思議にも守られ 慰められて
私はここでの日々を君たちと共に生き
君たちと共に新年を迎えようとしています

過ぎ去ろうとしている時は 私たちの心をなおも
悩まし
悪夢のような日々の重荷は 私たちをなおも押し
続けています
ああ、主よ どうかこのおびえおののく魂に
あなたが備えている救いを与えてください

あなたが、もし私たちに苦い杯を 苦汁にあふれる
杯を
なみなみとついで差し出されるなら
私たちはそれを恐れず 感謝して
いつくしみと愛に満ちたあなたの手から受け取り
ましょう

しかし、もしあなたが私たちにもう一度喜びを
この世と まぶしいばかりに輝く太陽に対する喜
びを与えてくださるなら
私たちは過ぎ去った日々をすべて思い起こ
しましょう
私たちのこの世の生のすべては あなたのもので
す

あなたがこの闇の中にもたらしたろうそくを
どうか今こそ 暖かく 明るく燃やしてください
そしてできるなら 引き裂かれた私たちをもう一
度 結び合わせてください
あなたの光が夜の闇の中でこそ輝くことを 私た
ちは知っています

深い静けさが私たちを包んでいる今 このときに
私たちに聞かせてください
私たちのまわりに広がる目に見えない世界のあふ
れるばかりの音の響きを

あなたのすべての子どもたちが高らかに歌う賛美
の歌声を

主のよき力に 不思議にも守られて
私たちは来るべきものを安らかに待ち受けます
神は 朝に夕に 私たちのそばにいます
そして私たちが迎える新しい日々にも 神は必ず
私たちと共にいます

・・・・・・・・・・・・・・・・
心を静かにしながら、新しい年を迎えたいと思
います。
祝福がありますように。
関根一夫

++
今年も大変お世話になりました。心から感謝申
上げます。
温かい支援的な心、尊い献金、励ましのメール、
さまざまな応答を本当にありがとうございます。
また新しい年もどうぞよろしくお願ひします。
くれぐれもご自愛ください。祝福がありますよ
うに。 関根一夫